



教育委員会だより

編集・発行 東金市教育委員会 教育部教育総務課

〒283-8511 東金市東岩崎1番地1 東金市役所4階 / TEL 0475-50-1183
メール: kyoso@city.togane.lg.jp URL: http://www.city.togane.chiba.jp/

第8号

平成27年

11月30日発行

教育委員会制度が変わりました

新教育長あいさつ

教育長 飯田 秀一

教育委員会制度の改正によりまして、10月1日から新たに市議会の同意を得て、市長からの任命をいただき、教育長に就任いたしました飯田でございます。

再任という形ではございますが、歴史と伝統に輝く東金市の教育行政の推進に鋭意取り組んでまいりますので、よろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

ここでは、改正となった新しい教育委員会制度の概要をお知らせいたします。

- 一. これまでの教育委員会の責任者である『教育委員長』職が廃止され、新たな『教育長』がその責任者となったこと。
- 二. 教育長の任期が4年から3年になったこと。また任命権者が教育委員会から市長になったこと。
- 三. 市長と教育委員会が教育行政について協議する公式な場

として『総合教育会議』が設置されたこと。

この総合教育会議では、今年度「教育行政の大綱の策定」について協議されており、また必要に応じたような事項も協議されます。

- ・教育の条件整備など重点的に構ずべき施策
- ・児童、生徒等の生命、身体への保護等緊急の場合に構ずべき措置

今後益々、教育の充実と発展のため、市民の皆様方にとって、開かれた教育委員会であるよう努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



上段左より 齊藤委員、小高委員、藍委員
下段左より 飯田教育長、川嶋教育長職務代理者

体育公開研究会

10月9日(金)、北中学校において、東金市小中学校体育研究会が行われました。会場には市内外から多くの体育関係者が集い、二学年男女による「ダンス」の授業が公開されました。

当初、緊張気味であった生徒たちの表情も次第にほぐれ、リズムの変化を楽しみながら、自由に表現する姿がみられました。

また動きづくりの場面では、曲想のイメージをタブレットで撮影し、グループで協力し合いながら、作品を創りあげるなど、新しい体育授業の方向性を示すものであり、大変有意義な研究授業が展開されました。



創作ダンスに励む生徒たち



子ども議員の氏名及び質問事項等

学校名・学年	氏名	質問事項等
東金中1年	板倉 和亜	東金市の教育・文化について
東 中1年	藤本 悠希	都市整備・安全について
西 中1年	坂田 光輝	「みのりの郷東金」の経済効果と今後の展望について
北 中1年	増田 遥香	お年寄りのための福祉について
東金中2年	新井 太陽	東金市の福祉・健康について
東 中2年	中村 勇斗	教育・文化について
西 中2年	佐々木千秋	東金市の都市整備・安全について
北 中2年	秋元 真憂	東金市が行う環境政策について
東金中3年	高橋 愛葉	東金市の祭りについて
西 中3年	小川 寧音	教育環境について
北 中3年	山内 志織	東金市内における建物の耐震対策について
東金中3年	大野 滯奈	東金駅駐輪場の環境整備について
東 中3年	尾崎 桃果	東金市の観光イベントについて
西 中3年	齊木虎之介	乗り合いタクシー事業について
北 中3年	山本 竜大	教育に関すること
東 中3年	鴻巣 莉帆	【議長】

去る8月5日、東金市議会議事堂において「東金市子ども議会」が開催されました。

当日は、市内の各中学校より選出された16名が子ども議員として出席し、東中

東金市子ども議会開催

学校3年の鴻巣莉帆さんが議長を務めました。

各子ども議員から、「東金市の未来を考える」をテーマにした様々な質問や提案が発表され、市長、教育長が答弁を行いました。

東金市の将来を真剣に考え、中学生らしい視点で質問や提案をしていた子ども議員の姿に逞しさを感じました。

市議会議事堂にて記念撮影



東金市小学校球技大会

10月7日(水)、東金アリーナ及び陸上競技場・家徳グラウンドにおいて、市内の小学校9校による球技大会が行われました。

男子を中心に編成されるサッカーの部と、女子のみの編成によるミニバスケットボールの部に分かれて、優勝目指し熱戦が繰り広げられました。



【大会結果】

【ミニバスケットボールの部】

優勝：鶉嶺小学校
準優勝：城西小学校

【サッカーの部】

優勝：城西小学校
準優勝：日吉台小学校



タブレットを活用した授業研究会

10月1日(木)、東中学校で市教育委員会主催の研究会が開催されました。今年は3人の先生方がそれぞれタブレットを活用した授業提案を行いました。画像を操作して相似な図形の性質を理解する学習や、付箋紙の機能を利用して防犯カメラの設置について討論する学習、動画機能を活用した歌舞伎の外郎売の朗読学習など、意欲的に学習に取り組む姿が見られました。



児童生徒の情報活用能力や、思考力・表現力の向上が図れるよう、創意を生かした活用方法が期待されます。

市教育委員会では、平成26年度から3年間かけて、全小中学校にタブレットを40台配置する計画をすすめており、今年度まで既に小中学校8校に配備済みであり、来年度に残り5校に配備する予定です。タブレットを活用することで

第62回東金市民体育祭

総合優勝 正気地区(4連覇)

10月11日(日)、東金市民体育祭が開催され、正気地区が総合優勝を果たしました。また、種目別の成績として、正気地区が玉入れで7連覇、福岡地区が綱引きで2連覇を果たしました。

主な優勝は左記のとおりです。

- ・ 総合 正気地区
- ・ 綱引き 福岡地区
- ・ 合同リレー 正気地区
- ・ むかでリレー 正気地区
- ・ 玉入れ 正気地区



★特報★ 第66回山武郡市民体育大会

《東金市総合優勝》

6月28日(日)に開催された、第66回山武郡市民体育大会において東金市が12年ぶりに総合優勝を果たしました。

第42回全日本中学校陸上競技選手権大会の思い出

(東中学校3年4組 鈴木 啓磨)

全国大会で走ってみて思ったことは、全国の舞台で自分の力を発揮するということは、とても難しいことだと感じました。自分の上にはまだまだ早い人たちがたくさんいて、自分には戦力、努力ともに足りていないと感じさせられました。

しかし全国の舞台で走れたことは、とてもいい経験になりました。ここまでこれたのは、顧問の先生・家族や周囲で応援してくださいました方々のおかげです。本当にありがとうございました。

今後の目標は、自分の志望する高校に合格し、インターハイに出場し良い結果を残すことです。

最後に、応援してくださいました皆さん、とても励みになりました。本当にありがとうございました。



男子 1500m 出場

小・中学校音楽発表会

”ひびけ!!きらめけ!!”

東金っ子ハーモニー

11月5日(木)、東金文化会館大ホールにて、第6回「東金市小・中音楽発表会」が開催されました。

この音楽発表会は、市内の各小中学校の児童・生徒に「同じ会場で表現活動・鑑賞をすることにより、交流を深め、小中学校連携の機会とします。」



写真は鶉嶺小学校音楽部。11月8日の千葉県大会に出場し、みごと県代表として来年2月の東日本大会への出場が決まりました!

当日は市内13校の小中学校の児童・生徒が「金管合奏」や「合唱」を日頃の練習の成果を生かして発表することができました。

また、本年3月に東京の府中の森芸術劇場で行われた第38回全日本アンサンブルコンテストで金賞を受賞するなど数々の賞に輝いている東中学校の「吹奏楽」や東小学校、豊成小学校、東中学校の合同演奏も行われ、素敵な音色を会場に響かせていました。

各学校それぞれの発表が終わると、会場いっぱいになり、拍手が沸き起こり、演奏の素晴らしさを体感することができました。

会場には、2階の保護者席に座りきれないほど多くの方々にお越しいただき、会場全体が一つになり、幸せなひと時を過ごすことができました。

～学校創立100周年～

学校紹介

第7回 東金市立豊成小学校

校長 鈴木高志



学校教育目標 自ら学び、心豊かで、たくましく生きる児童の育成

～心豊かでたくましく生きる豊成っ子～

「地域とともに歩む学校教育は不滅なり」・・・本校は今年度、学校創立100周年を迎えました。前身は大正4年に武射田、御門、宮、薫陶の各小学校が統合されて豊成尋常小学校として開校。その後、現校名となり現在に至っています。この100年の歴史の中では戦争の悲劇の歴史もありましたが、地域に支えられた豊成教育はしっかりと守られてきました。本校の特徴の一つとして、現在においても地区の各種団体や後援会等の協力・支援があり、また緑豊かで長閑な田園風景が広がる教育環境のもと、児童は伸び伸びと活動できる環境下にある学校として存在しています。児童数の推移としては、現在は227名(11学級)であり、平成7年度を境に減少傾向にありますが、これまでに延べ5,087名が巣立ち、多岐の分野で活躍しています。そういう意味でも本校は地域に支えられる「歴史と伝統のある学校」と言えます。その伝統と歴史を継承しながら、現在は学校教育目標「自ら学び、心豊かで、たくましく生きる児童の育成」の具現化に向け、子ども・教職員が一人一人が大切にされ、個が活かされる楽しい学校」「明るい挨拶と笑顔が溢れる学校」「きれいで潤いのある学校」「人や自然を大切にし、ふるさとを誇れる学校」「地域と一体となって子どもを育む学校」

を掲げ教育活動の充実を図りながら進めています。

本校の歴史が続く限り、私達教職員も積極的に地域とつながり、絆を深め合える喜びを感じて行くことが何よりも子どもにとって大切と強く思います。時代や環境の変化を柔軟に受け入れながら、今後も「子どもを主人公として」地域と一体となった学校づくりを目指し努力します。

